

ワクチン接種 実施方法は

円滑な接種に向け調整中



議員 矢野 依伸

の接種は説明会を開催するなど準備を進めている。今後、ワクチン確保の日程が決まり次第、接種計画を再調整し、幡多医師会、医療センター、看護協会の協力のもと接種体制を整えていきたい。

問 新型コロナウイルスワクチン接種の現時点での実施方法等について聞

答 佐田健康福祉課長

ワクチン接種は、町内4か所での集団接種を中心に考えており、その際の移動手段としてはバスでの移送をする。

また、町内の4医療機関がかかりつけ医である場合は個別接種での実施を考

えている。介護施設等の入居者へ

集落実態調査

対象集落の拡大を

県調査の内容検討の上で

問 県は令和3年度、中山間地域の集落実態調査とアンケート調査を行い、今後の施策に反映すること

のことだが、アンケート調査は多くの意見を聞くよう、対象集落を町独自調査として拡大できないか。

答 西村企画調整室長

県は10年ぶりに50世帯未満の集落を訪問し、住民から直接、課題などを聞き取る実態調査と、対象地区の中から2、3集落を選定し、20歳以上の方を対象にアンケート調査を予定している。

中山間地域の現状把握や意見を聞く良い機会ととらえており、県の調査に同行したい。調査の内容等によっては今回の調査対象外の集落の訪問等も検討していきたい。

土砂災害

特別警戒区域の指定状況は

県が説明会を開催し指定へ

問 県は、土砂特別警戒区域（レッドゾーン）の指定に向け、各市町村で

地区説明会を開催しているが、町内での指定状況及び指定による規制の影響はどうか。

答 徳廣情報防災課長

土砂特別警戒区域は県が調査を行い、土地所有者等へ説明会を行った上で指定され、町内では、現在鈴地区のみの指定である。この指定で、特定開発行為の許可制、建築物の構造規制や移転等の勧告が図られる。

支援制度としては、がけ崩れ住家防災対策事業、住宅等土砂災害対策促進

事業等での一部補助、移転に対する融資支援がある。

指定を受けても継続して住むことが出来るが、居住場所のリスクを知り、適切な避難行動、事前準備が大切で、今後、地区防災計画に組み入れ、検証、修正を行っていくよう取り組む。



中山間集落の風景（大井川地区）

弱視検査の実施状況は

3歳児検診で早期発見へ

問 弱視は幼児期に治療を始めれば改善する傾向

が高いが、従来のランドル環（Cマーク）による視力検査では発見は難しいと聞く。弱視スクリーニング検査の実施状況はどうか。

答 佐田健康福祉課長

令和元年度から3歳児検診時にスポットビジョンスクリーナーという屈折測定機器を使用し、早期発見に努めている。

検査で要精密となった場合は医療機関への受診指導を行い、未受診の方へは適切な治療等につながるよう対応している。

【その他の質問】

・子どもの命を守る黒潮町民会議について